

耕作放棄地の解消（青パパイヤの実証栽培）

農委会名：津奈木町農業委員会

1 地域の概要

津奈木町は、熊本県南部に位置し、東南北を山々に囲まれ、西は不知火海を隔てて天草諸島と相對し、面積は、東西6.7km、南北9.0km、総面積34.09をkm²有し、東西南北を山、川、海によって区切られた区域となっており、標高は260m～520m前後の山々が連続しており、平地が少なく、町土の約6割が森林となっている。

農業については、温暖な気候を生かして、海岸傾斜地や内陸部の平坦地を利用した甘夏みかんや露地・ハウステコポンの果樹栽培が行われている。水稲については、ヒノヒカリなどを中心に栽培され、裏作としてサラダ玉ねぎを栽培する複合経営的農業生産が展開されている。

2 農業委員会の体制

- (1) 農業委員数 6人（うち、認定4人、女性1人）
- (2) 推進委員数 5人（うち、認定4人）
- (3) 事務局体制 3人（兼任）

3 掲げた目標

耕作放棄地の解消の実践 1,000m²

4 目標達成に向けた取組み（運動）の内容

耕作放棄地の解消を図るため、高齢により耕作できない農地所有者と利用貸借の契約を行い、再生を図った。本町で、耕作放棄地対策として取組んでいる青パパイヤの実証栽培を行った。4月に植付け、6月から農業委員会内で草刈りなどの作業を当番制で行った。



【作付けしたパパイヤの苗】



【パパイヤの苗を作付けした圃場】

別紙様式①



【パパイヤを植付している様子】

5 取組みの成果（できるだけ数値を用いながら、具体的に）

青パパイヤの実証栽培を行ったことで、約1,000㎡の耕作放棄地を解消することができ、約100個の収穫もできた。また、農業委員会活動の見えるかの推進に努めた。



【成長したパパイヤ（多くの実が成っていた。）】

6 課題と今後の方針等

耕作放棄地は、担い手の減少や鳥獣害被害等の要因により増加傾向であり、今後もできるだけ解消へ向けて、地域一体となった取組を推進していくことが課題である。

今後も高単価作物の導入等による耕作放棄地の解消へ向けて取り組んでいきたい。